



薄川土地改良区だより

2026. 4. 1

松本市薄川土地改良区から、入・里山辺に住む方々へのお 願いとお知らせです

【いよいよ芽吹き of 春の到来です】

一時暖かな日が続き、今年は桜が早くみられるかなと思いましたが、信州の春はそう簡単に来ないようです。

福寿草、スイセン、蠟梅、サンシュユ等何故か黄色の花が真っ先に咲くようです。今年の冬は雪も少なく、また皆様のご協力もあり、雪かきの雪が下流に流され溢れるというトラブルは起きず感謝しています。近頃の日本の四季は変わってしまったという声が多いですが、それでも春の到来は老いも若きも心が弾むものです。

【こんなトラブル起きないように】



事例 1

昨年のこの時期には、JA山辺のすぐ上の県道美ヶ原線を横断する水路が、道路下の暗渠で詰まり、溢れた水が複数の民家の敷地に流れ込み、大変ご迷惑をおかけしました。町会長さんをはじめ町会の皆さんが何人も出ていただき、2時間ほどで詰まった障害物を取り除くと一気に水が流れ解決しました。いよいよ水田に水を入れる時となり、大堰からの水門を一気に開けたため枯葉などが暗渠部分の石に詰まってしまったのが原因だったようです。堰に水を流す場合は、落ち葉など障害物を取り除いて水を流してください。ビニール袋など生活廃棄物も流さないようにしましょう。

事例 2

今年の1月の終わり頃です。藤井橋の北東に「オオブケ水路」の末端で、大堰に水を返水する部分に1m四方の水ダメがあります。そこに長年たまった泥や小石が堆積し、寒さで完全に凍ってしまい、更に上流からの枯葉やペットボトルなどが凍り付き水が流れなくなりました。結果1mほどある水路が満水となり、その上の水田の土手迄水が溢れ、畦が抜ける心配も出てきました。下校時の数人の小学生が発見して騒ぎとなり町会長さん、水利委員の方々、近くの家の方々が集まり、当面上流の水門を閉め、翌日オオブケ水路関係の皆さんにお願いして凍った堆積物を割って水を通しました。3月には関係の地権者で川ざらい（堰ざらい）を実施しました。